

平成 27 年 5 月 19 日

各 位

会 社 名 総合商研株式会社

代表者名 代表取締役会長 加藤 優

(JASDAQ・コード 7850)

問合せ先 企画管理本部部長 太田 健一

電話番号 011-780-5677 (代表)

今般の公認会計士等の異動に関する経緯について

当社が平成27年4月21日~平成27年4月30日にかけて「公認会計士等の異動に関するお知らせ」として開示いたしました件につきまして、投資家の皆様に適切なご理解をいただくため、今般の公認会計士等の異動に関する経緯をあらためてご説明させていただきます。

記

1. 異動の決定又は異動に至った理由及び経緯

当社の前任会計監査人である有限責任クロスティア監査法人が、平成27年3月20日付にて公認会計士監査・審査会より、同法人の組織体制について勧告を受けました。同会の公表資料に記載のとおり、主な内容といたしましては、同法人の社員のうち、公認会計士の登録を受けた後、3年以上監査証明業務に従事している者の人数が不足しているというものであります。

当社は、同法人から勧告についての説明を受け、当社に対する監査業務自体に大きな問題が無かったことを確認いたしましたが、一方で公認会計士の人手不足が深刻化しており、特に同会が求めている北海道に住所を置く者の人材確保は相当な困難を極めると予想されるため、今後、同法人が人的資源を充実させた上で監査を継続することは難しいとの通知を受けました。

その後、平成27年4月10日、同法人より当社監査役が辞任の通知を受け、当社といたしましては、内々で一時会計監査人の就任目処が立ったこともあり、平成27年4月15日に正式に合意解除するに至りました。

当社は平成27年4月21日付で合意解除に関する開示を行いましたが、同開示が遅れましたのは、一時会計監査人の正式就任日である平成27年4月30日に、会計監査人の辞任及び一時会計監査人の就任について同時に開示を行う考えであったためであります。

そのため、会計監査人辞任の開示のみが先行し、また異動理由の記載も説明不十分であったため、投資家の皆様にご迷惑とご心配をおかけすることになり、深くお詫び申し上げます。

なお、今回の有限責任クロスティア監査法人に対する勧告及び処分を理由として、過去の決 算内容が訂正されることはございません。また、同法人の当社に対する監査意見の変更がない ことも申し添えさせていただきます。

以上